

9月議会 議案の中から

① 議案第7号 平成26年度一般会計補正予算

○井戸付耐震性貯水槽整備事業 7,000万円
〔財源内訳〕 地方債 5,250万円
鎌ケ谷市の負担 1,750万円
井戸付耐震性貯水槽を第四中学校の校庭に整備するため、計上するもの。6カ所全てのコミュニティエリアに整備が完成する。

○地域型保育整備助成事業 2,980万円
〔財源内訳〕 県支出金約 約2,618万円
鎌ケ谷市の負担 約362万円

現在の認可外保育所2カ所を地域型保育事業に移行し、新たに1カ所の公募を行い、3カ所(定員19名×3カ所=57名)の開設を予定。実施事業者の施設改修費や家賃等の補助金を交付するため、計上するもの。

○放課後児童クラブの管理運営に要する経費 368万円
〔財源内訳〕 鎌ケ谷市の負担 368万円
子どもたちの安全確保を図るため、登下校の状況を保護者にメール配信するシステムを10施設の放課後児童クラブ導入するため、計上するもの。

○義務教育施設非構造部材耐震改修事業 約2億726万円
〔財源内訳〕 国庫支出金 約6,976万円
地方債 約1億3740万円
(充当率100% 交付税措置80%)
鎌ケ谷市の負担 9万5000円

第2次実施計画事業として27年度に計上していたが、国庫支出金の追加募集があり、財政的に有利な交付金が活用できることから、前倒しして実施することとなった。全小学校にガラス飛散防止フィルムを貼り、チェーンでぶら下がっている蛍光灯を天井に直付けする。

① 議案第12号 平成26年度一般会計決算の認定について

実質収支約16億6000万円と過去最高の黒字、積立金現在高約66億円を確保するなど、財政状況の安定を示した議案が可決。

鎌ケ谷市の自主財源と依存財源の推移

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
自主財源	58.5%	55.7%	54.4%	53.8%	48.7%
依存財源	41.5%	44.3%	45.6%	46.2%	51.3%

近隣市の自主財源と依存財源比率

	白井市	野田市	流山市	鎌ケ谷市
自主財源	65.7%	55.8%	54.9%	48.7%
依存財源	34.3%	44.2%	45.1%	51.3%

平成25年度決算より

② 松沢の主張

自主財源比率が低く、依存財源比率が高いことは、国の施策等の影響を受けやすい状況である。現在の国の不安定な財政運営のもと、市は依存財源に頼らない財政体質を構築する必要があり、次世代に安定した財政状況を引き渡すためにも、事業の選択と集中を図ることが重要である。

① 決算審査特別委員会における松沢の主な質疑

○庁舎管理に要する経費(光熱水費) 約2,843万円

Q 特定規模電気事業者 PPS 導入による効果について

A 平成25年度に市庁舎と総合福祉保健センターの2カ所に導入し、約10%、削減額は約360万円。

Q 今後の方針について

A 今年度は保育園、小中学校、公民館などの26カ所で活用しており、一部施設を除き導入が完了している。今後は平成28年をめどに低圧受電を行っている施設での新電力活用を図りたいと考えている。

Q 第2斎場建設事業に要した総金額について

A 平成21年度から25年度までの間、人件費を含む事務費については約2億4271万円。事業費は約6561万円。合計で約3億832万円。

Q 八千代市での建設断念によって、次の候補地に引き継げるものと引き継げないものについて。

A これまでに要した人件費や調査費は成果につながらない支出となった。しかし、基本設計などについては、これまでに蓄積したものを有効に活用し、新しい施設での設計に反映ができると考えている。

○近隣商業拠点整備事業 約49万円

Q 事業の進捗状況について

A 北初富駅前広場の概略設計を実施し、駅前広場及び進入道路についての形状等の検討を行い、整備に向けた概略設計図書を作成している。

Q 取得しなければならない用地について

A 駅前広場の整備には千葉県所有地が2筆と民有地や2筆、合計4筆ある。

③ 松沢の主張

新京成連続立体交差事業が完成する予定の平成29年度に北初富駅前広場の供用が開始できるよう、用地取得交渉を早期にまとめる必要がある。



① 議案第17号 財産の無償貸付について

旧三橋記念館跡地に建設予定である民間保育所を含む商業施設の事業者に対し、平成24年8月3日に締結した協定書に基づき、土地を無償で貸し付ける。

無償貸付の相手方 株式会社モール・エスシー開発

無償貸付の期間 平成26年10月1日から平成48年3月30日まで

〔商業施設の概要〕

3階	園庭
2階	保育所
1階	テナント



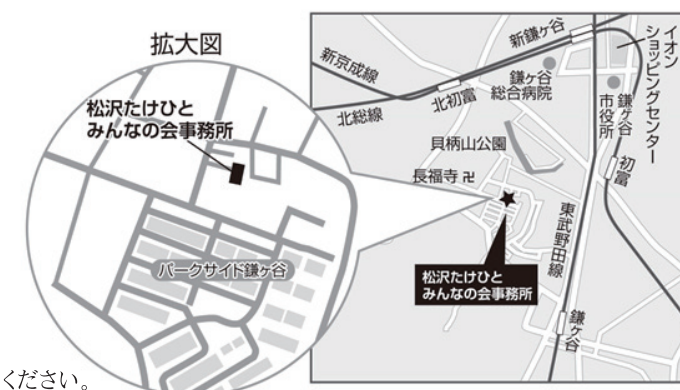
松沢たけひと
市政報告会のご案内

11月24日(月祝)
14:00 ~ 15:00

会場：松沢たけひと みんなの会事務所
(鎌ケ谷市東中沢 2-19-88)

問い合わせ先：TEL 047-445-5260

※入退場自由ですので、どなたでも気軽にご参加ください。



松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 鎌ケ谷市立中部小学校卒業
- 平成2年 鎌ケ谷市立第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役
節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選

私、松沢たけひとは39歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。

Q 市内在住の外国人の状況、推移について

A 市内在住の外国人は平成 26 年7月末現在、45 개국、約 1,100 人で、人口の約1%。内訳は、中国、韓国、フィリピン国籍の住民が3分の2近くを占め、次いでタイ、ペルー、ネパール、パキスタンの順となっている。また、各年 12 月 31 日現在の登録人口で、平成 22 年 1,233 人、平成 23 年 1,185 人、平成 24 年 1,066 人、平成 25 年 1,144 人となっている。

Q 外国人の方の窓口対応について

A 平成 26 年4月に開設した多文化共生推進センターにて、通訳のできるプロジェクトマネージャーや非常勤職員を配置し対応している。また、多文化共生推進連絡協議会の協力のもと、平成 26 年8月現在、英語、中国語、韓国語、タガログ語の4か国語の通訳ボランティアを配置してもらい対応している。

Q 市ホームページの多言語自動翻訳サービスの導入について

A 今年度中に多言語自動翻訳サービスを導入すべく、準備を進めている。翻訳言語は、英語、中国語、韓国語、タガログ語、タイ語の5言語で、日本語トップページにある翻訳ボタンをクリックすることにより機械翻訳で自動的に翻訳されることになる。

Q 姉妹都市ワカタネへの留学機会について

A 3年に1度鎌ケ谷市中学生ワカタネ派遣事業を実施。平成 25 年度は、市内在住の私立を含む 21 名の中学生の応募があり、作文や面接を行い、10 名を選考。8日間の日程でホストファミリーの家でホームステイ、現地の中学校、高等学校の訪問等の交流をした。今回は、平成 28 年度に前回と同様に 10 名の市内在住の中学生を派遣する予定。

Q 児童生徒における英語教育の取り組みとその課題について

A 現在、各中学校に1名と3つの小学校に1名の割合で合計8名のALTを配置し、小学校の外国語活動では授業を担当とALTのチームティーチングで行うようにしている。また、ALTは授業以外にも子供たちと日ごろからふれあう機会を持つようにしており、さまざまな学校での活動をともに行うことができる環境を今後も最大限に生かしていきたいと考えている。現在の課題としては、小中連携をより一層深めていくことだと認識している。小中学校間で外国語を通じて教員や児童生徒の交流を積極的に行うことでより充実した外国語教育ができると考えている。

Q 災害時の外国人への対応について

A 地域防災計画では外国人を災害時要援護者と位置づけ、防災訓練や防災教育の推進を初め、多国語による簡単な表現、イラストや挿絵や振り仮名などを入れた防災パンフレットなどの配布や避難所での優しい日本語の使用、イラスト、挿絵や振り仮名の併記などを行うこととしている。また、市内の通訳者と派遣ボランティアなどの確保や県への語学ボランティアの派遣要請などを行える体制づくりを行い、災害時には的確な対応を行うこととしている。なお、9 月 28 日に開催される総合防災訓練では、新たな試みとして国際交流協会、KIFAによる英語、中国語、ハングル語、ベトナム語の通訳者による会場の案内を行い、外国人の方も身近な防災対策にふれあうことで市全体の防災力をより一層高めたいと考えている。

まとめ 羽田空港と成田空港の両空港へ直通で行くことができ、都心から 25 キロメートル圏内にあるというアクセスの良さを活かして、外国人にも、「寄ってみたい、住んでみたい」と思われるまちづくりを行うため、これまで取り組んできた姉妹都市交流や国際交流、国際化教育の施策をさらに前進させ、多文化共生社会の構築に向けた取り組みを進める必要がある。

ご意見

市政に関するご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。また、お友達との井戸端会議、勉強会等、2~3人でも出前市政報告に伺います。

TEL 047-445-5260 FAX 047-443-5551

E-MAIL kamagaya@t-matsuzawa.net



ママミーティング好評です

サポーター募集

お金をかけないクリーンな活動を展開しています。市政報告「あした輝け！」の配布など、お手伝いくださる方を募集しています。

Q 市が保有する公共施設における駐車場の現状について

A 市庁舎、コミュニティセンター、公民館、都市公園、スポーツ施設など合計 44 施設、1,039 台分の駐車区画を有する駐車場がある。

Q きらり鎌ケ谷市民会館の駐車場について

A 現在図書館、郷土資料館との共用駐車場が、図書館脇に 21 台の駐車場を確保し、対応している。基本的には駅に近いこともあり、公共交通機関のご利用をお願いし、車を利用されるときには市役所駐車場の利用を案内している。きらりホール来庁者アンケートでは、交通手段として車でのご来場は 30% 程度となっているのが現状だが、お体の不自由な方やイベント開催時における楽器や舞台用具の搬入のためなど、各施設の利便性を図る上でも一定程度の駐車場の確保が必要であると考えている。

Q きらり鎌ケ谷市民会館駐車場の取得について

A 平成 25 年度に取得し、一筆は中央1丁目 648 番地 551 の 67.54 平方メートル、二筆目は中央1丁目 648 番地 552 の 533.54 平方メートルで、合計 601.08 平方メートル、購入額は 6,292 万 7,730 円、物件補償額は 618 万 7,700 円で、碎石で転圧整備している。

Q 舗装化について

A 流出抑制対策を講ずる必要があることから未舗装となっているが、砂ぼこりをどうにかしてほしいとのお話や雨天時の利用状況を見ると舗装が必要であると考えている。



編集後記

どんな政策にも目的があり、事業費を計上しています。例えば子育て政策の場合、どれくらいの予算を使ったか（インプット）、どれだけの利用状況になったか（アウトプット）、そして、子育てのしやすい街になり、出生率や子供数がどれだけ増えたかという（アウトカム）事業の点検・検証をして、次年度の予算編成に反映させることが行政評価であり、市議会の決算特別委員会の役割です。鎌ケ谷市議会を構成する一人として鎌ケ谷市が使うお金の使い道をわかりやすく説明することに努めてまいります。

Q 新たなきらり鎌ケ谷市民会館駐車場予定地について

A 初富地区の活性化を推進する上で駐車場の確保が必要であると考え、全庁的に検討した結果を踏まえ、購入予定である。

予定地の概要は、初富駅に隣接する中央1丁目 648 番地 287 ほか8筆で、総面積は 1,019.66 平方メートル、約 308 坪。土地の購入については、不動産鑑定をもとに来年度予算の予定だが平成 26 年4月1日の価格時点の評価額としては1平方メートル当たり 14 万 6,000 円となっている。今後物件調査を実施し、補償額を算出し、次年度予算を計上していく予定。駐車場の確保については、次年度予定地が購入できた場合には、当該地の駐車場台数としては 40 台から 50 台程度確保する見込みである。

Q 市役所免震工事における駐車場の影響について、また、対応策について

A 現在免震工事は、平成 27 年1月から平成 28 年 12 月までを予定している。工事の進捗によって経常する台数に変化はあるが、最大で 93 台の駐車区画が減少する見込み。また対応策として、市役所に面する国道 464 号を挟んだ向かい側に位置する土地に 14 台分の駐車場を確保したところだが、引き続き可能な範囲内で駐車場の確保に努める。



まとめ 市制記念公園の駐車場やきらり市民会館の駐車場は未舗装であり、舗装化を求めてまいります。また、庁舎免震工事によって障がい者用駐車スペースが移動することや、駐車区画の大幅な減少が想定されます。大変ご迷惑おかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。